

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、式典の開催が中止となってしまったこと、誠に残念に思います。久しぶりに皆様と会うことを、楽しみにされていた人や、何年も前から、晴れ着を用意して楽しみにしていた人もいると思います。また、いつの日か皆様と会えるのを楽しみにし、このような悲しみに遭う人が少なくなるよう、早く新型コロナウイルス感染症が収束することを願います。

中止になってしまいましたが、こんな大変な状況の中、少しでも我々、新成人のために役員の方々が様々な支援をしてくださっていること、この場をお借りし、新成人を代表して御礼申し上げます。

私たちが中学校を卒業し、様々な道を歩み始めて5年という月日が経ちました。大学、専門学校で勉学に励んでいる人、就職して仕事を頑張っている人、一人暮らしを始めて親元を離れている人、さらには、結婚して幸せな家庭を築いている人もいると思います。5年でここまで生活などが変化し、短いようで長い5年間だと私は感じております。

二十歳という節目を迎えた私たちですが、ここまで大きく成長できたのは、時に厳しく、時に優しくご指導してくださった先生方、地域の皆様、そして、生まれてから一番近くで見守り、反抗的な態度や強くあたっても、見捨てずに深い愛情を持って育ててくれた家族の支えがあったからこそ、今、私たちはここに生きています。二十年間支えてくださった全ての方々に、この場をお借りして感謝申し上げます。

そして、成人を迎え、様々な道を歩いていますが、これからの社会を担っていく存在になるために、私たちはまた新たな一步を踏み出します。これからも私たちの成長を温かく見守ってくださると幸いです。

私ごとで恐縮ですが、人生を変えてくれた人が家族以外にもいます。その人を傷つけ失ったことで後悔し、私は変わることができ今の私がいます。そのおかげで、いろいろなことに興味を持つようになり、視野が広がりとても感謝しています。失敗や後悔は悪いものではなく、成長させてくれるものだと思います。これから成人として、また社会人として、私たちには様々な壁や失敗もあることでしょう。人生は転ぶものだと思います。そんなときも歩んできた道を信じて立ち上がり、自分を見失わずに前向きに生きていきましょう。

最後に、まだまだ未熟な私たちではありますが、これまでお世話になった全ての人に恩返しができるよう、袖ヶ浦市で育ったことを誇りに思い、それぞれの夢や目標、そして成人としての決意を胸に刻み、これからの人生を歩んでいくことをここに誓い、新成人代表の挨拶とさせていただきます。

令和3年1月10日

平川地区新成人代表 橋爪 瞬